

三島市の財政状況

市民の皆さんに納めていただいた税金の使い道や、市の財政状況を毎年6月と12月に公表しています。

平成28年度の一般会計は、当初356億7000万円で出発しましたが、北中学校改築事業、経済対策臨時福祉給付金給付事業などの補正と、前年度からの繰越事業を含め、最終予算は382億8198万円となりました。

決算額は、収入額が361億9726万円、支出額が355億2473万円となっています。この決算額を前年度と比べると、収入は2.3%の減少、支出は1.3%の減少となりました。

問合せ 財政課 ☎9833・2622

用語の説明

一般会計 市が行う仕事の大部分を賄う予算。市税や国・県からの支出金などが財源。

特別会計・公営企業会計 特定の事業や特定の収入で行う事業の場合、経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて設置。三島市では7つの会計がある。水道事業会計は企業会計方式を用い、独立採算制で事業・経理を実施。

市税 地方税法で定められた市民税、固定資産税、軽自動車税など。(三島市では、資本金1億円超の法人に対して、法人市民税の法人税割に超過税率を適用。平成28年度の超過税率分の決算額7881万円は、教育施設の整備費8143万円の財源に充当。)

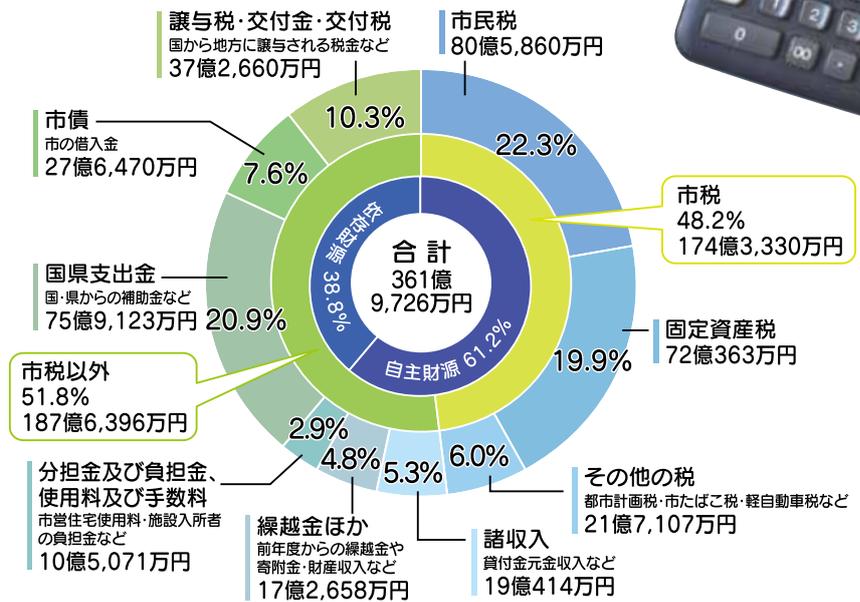
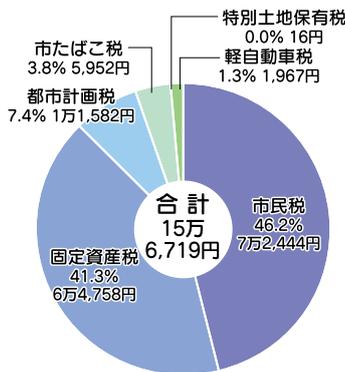
臨時財政対策債 地方の財源不足に特例で発行される市債。返済は、後年度の地方交付税で全額措置。



一般会計：歳入

市税収入を市民1人あたりに換算

市の収入の約半分は市民や企業の皆さんから納めていただく市税で賄われています。



※掲載している市民1人あたりに換算した金額は、平成29年3月31日現在の人口11万1,239人で算出しています。

平成28年度の主な事業



▲修景整備できれいになった蓮沼川

- ガーデンシティみしま推進事業
- 蓮沼川修景整備事業
- 都市計画街路（谷田幸原線ほか）、市道の整備
- 公営住宅整備事業
- ごみ処理施設基幹的設備整備事業
- スマートウエルネスみしま推進事業
- 長伏公園整備事業
- 各小・中学校トイレ改修事業
- 市制75周年記念文化事業
- 北中学校改築事業
- 児童福祉施設整備支援事業
- 放課後児童クラブ整備事業
- 療育支援相談事業
- 障がい児者への支援事業
- 高齢者生きがい対策事業
- 急傾斜地崩壊防止対策事業など

■特別会計決算

会計	収入	支出
国民健康保険	140億7,522万円	138億3,276万円
介護保険	71億6,149万円	69億5,170万円
後期高齢者医療	12億1,070万円	12億 742万円
墓園事業	1,221万円	394万円
下水道事業	32億8,199万円	32億1,612万円
駐車場事業	7,197万円	6,020万円
合計	258億1,358万円	252億7,214万円

■市債（借りているお金）の年度末現在高

区分	市債現在高	
一般会計	教育施設	60億 500万円
	土木施設	85億1,155万円
	清掃衛生施設	20億1,534万円
	公営住宅施設	13億 758万円
	福祉施設	13億8,494万円
	臨時財政対策債ほか	193億6,993万円
	一般会計合計	385億9,434万円
特別会計	下水道事業	185億1,022万円
公営企業会計	水道事業	32億6,791万円

■水道事業会計決算

区分	収入	支出
収益的収支	13億6,171万円	12億5,298万円
資本的収支	1億4,236万円	6億 298万円

一般会計：歳出

使い道は福祉関連経費が最大。歳出を目的別に見ると、民生費（社会福祉関連経費）が3割以上を占め、最も多くなっています。

歳出を市民1人当りに換算

支出は市税収入の約2倍で、31万9,355円が使われました。納めていただいた15万6,719円の税金と国や県からの補助金などを活用し、約2倍の行政サービス（支出）を提供しています。

